


倫理審査申請書

富山赤十字病院倫理委員会
委員長 清水一夫殿

申請者名 小林孝一郎 
所 属 呼吸器外科部
職 名 第1呼吸器外科部長

※ 受付番号 309

1. 課 題 名	オンライン面会に関する満足度調査	
2. 主任研究者	所属・職・氏名	呼吸器外科部 第1呼吸器外科部長 小林孝一郎
3. 分担研究者	所属・職・氏名	緩和治療病棟 師長 森田礼子
4. 研究等の概要	<p>【目的】新型コロナウイルス感染症の予防策として、入院患者への面会制限を行っている。家族に会えないことで、患者や家族の双方にとって大変つらい状況となっている。何とか面会したいとの要望は数多く寄せられており、スタッフも大変心苦しく思っている。そこで、タブレット端末を使用して、インターネット回線を利用したオンライン面会を行うことにした。満足度についてのアンケート調査を行い、悲嘆が軽減できるような満足度が高い運用を目指す。</p> <p>【調査方法】オンライン面会は、「来院いただき、面会室と病棟のタブレットでZoomのビデオ会議機能を活用して行う面会」と「自宅などから、家族のスマートフォンなどと病棟のタブレットで無料アプリのビデオ通話機能を活用して行う面会」から選択可能とした。通常業務に支障をきたさないよう、前日までの電話予約制とし、1日3組まで、1組の所要時間は約10分とした。オンライン面会后、インターネットを利用した質問紙調査を依頼する。</p>	
5. 研究等の対象及び実施場所	<p>対象：富山赤十字病院緩和治療病棟に入院している患者の家族等 場所：富山赤十字病院面会室、緩和治療病棟および面会者の自宅等</p>	
6. 研究等における医学的倫理的配慮について（(1)～(3)は必ず記載のこと）	<p>(1) 研究等の対象とする個人の人権擁護 ・年代および在住県以外の個人情報収集せず、回答は任意であり、回答しないことで不利益は生じない。</p> <p>(2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ・調査協力を依頼し、回答をもって同意したものとする。</p> <p>(3) 研究等によって生じる個人への不利益並びに危険性と医学上の貢献の予測 ・侵襲のない非介入研究のため、個人の不利益は生じない。 ・患者家族等にとって満足度が高い運用を目指すことで、グリーフケアとして悲嘆の軽減が期待できる。</p>	